



やさしいところ (思いやり Caring)

正直なところ (誠実さ Honesty)

がんばるところ (責任感 Responsibility)

大切に思うところ (尊敬心 Respect)

2017年11月1日

幼保連携型認定こども園

YMCA 保育園

11月えんだより

11月の聖句：「二人または三人がわたしの名によって集まるところには
私もその中にいる」

マタイによる福音書 18章 20節

長雨ごとに季節は移り変わり、すっかり秋を感じる季節になりました。体も動かしやすいこの時期に園外に出て、自然の移り変わりも十分に感じていきたいと思えます。

さて、春から新しく入園した子ども達や進級した子ども達も、半年が経ちますと、お互いの主張をするようになります。それだけ心が開かれた状態が増えてきていると言うことです。乳児の子ども達は、自分がおもちゃを持っていても、隣のお友達が持っているものが欲しくなり、「ちょうだい」「かして」「いいよ」「いや」そして、互いが思い通りにならないと手が出るがよくあります。幼児の子ども達は、そこに二人、三人の子ども達が関わりあいながら問題を解決していきます。うまく折り合いがつかないと「先生！」と助けを求めてくる子もいます。必ずといっていいほど起こりうることでありますが、子どもたちの成長には欠かせないプロセスであります。

自分達で解決した事は力になりますが、誰かに解決してもらおうと、いざと言う時にも誰かに解決してもらわないといけません。解決を援助していく視点はとても大切であります。しかし、そうはいうものの、大人の私たちは、とても気になります。「まだ小さいし」「意見を言い出しにくい子は、我慢ばかりしないとイケないのでは」と保育者、保護者の皆様も色んな思いにかられるのではないのでしょうか。

今月の聖句は、教会に対して書かれた例の話です。教会においても信仰強い者ばかりが集っているのではなく、色々な方が教会に集います。その中において、排除するような行為があってはなりません。

保育園も学校も同じです。色々な子ども達がいるからこそ、子ども達は育っていきます。何も支障の無いところに育ちはありません。「心を一つにしていくこと」にあると思えます。私たちは、偶然の出会いの中で同じ保育園に集い、同じ時を過ごし、子ども達が育つ場がここに与えられています。

「わが子、われらの子、みんなの子」という意識の中で共に育ちあうことを大切にしていこうところに、必ず、神さまはいて下さり、育ちの場を与えてくださるのです。

11月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	ありがとう	ありがとう
月の願い	*秋の実りを喜んで味わう。 *保育者の祈る姿を通して、思いを感じる。	*秋の実りに感謝し、あじわう *いろいろな人の働きに心をとめる *気持ちや考えを伝え合い、分かち合いながら友達と過ごす。
讃美歌	おほしがひかる	あなたの平和の 聖歌集増補版 1